

41 (’02 徳島大・改)

【難易度】… 難

n を自然数, a を正の実数とし, 曲線 $C: y = \frac{1}{a}x^{n+1} - x$ を考える. 次の問いに答えよ.

(1) 曲線 C と x 軸で囲まれた部分の面積が $\frac{1}{2}$ となるとき, a を n を用いて表せ.

(2) (1) で求めた a を第 n 項 a_n とする数列 $a_1, a_2, a_3, \dots, a_n, \dots$ を考える. $b_n = a_{2n}$ で定義される数列 $\{b_n\}$ および $c_n = a_{2n-1}$ で定義される数列 $\{c_n\}$ について, $\lim_{n \rightarrow \infty} b_n, \lim_{n \rightarrow \infty} c_n$ を求めよ.

【テーマ】: 面積と極限

方針

(1) では, n の偶奇によって $y = 0$ となる x の値が異なるので, 場合分けを行います. (2) では, 極限値を求める際に, $\lim_{x \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e$ を用います.

解答

(1) $y = \frac{1}{a}x(x^n - a)$ である.

(i) n が奇数のとき, $y = 0$ となる x の値は, $x = 0, \sqrt[n]{a}$ であるから, 曲線 C と x 軸で囲まれた部分の面積を S とすると, $0 < x < \sqrt[n]{a}$ において $y < 0$ であることに注意して,

$$\begin{aligned} S &= \int_0^{\sqrt[n]{a}} \left(-\frac{1}{a}x^{n+1} + x\right) dx \\ &= -\frac{1}{a} \int_0^{\sqrt[n]{a}} (x^{n+1} - ax) dx \\ &= -\frac{1}{a} \left[\frac{1}{n+2}x^{n+2} - \frac{a}{2}x^2 \right]_0^{\sqrt[n]{a}} \\ &= -\frac{1}{a} \left(\frac{1}{n+2}a^{\frac{n+2}{n}} - \frac{a}{2}a^{\frac{2}{n}} \right) \\ &= \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{n+2} \right) a^{\frac{2}{n}} \\ &= \frac{n}{2(n+2)} a^{\frac{2}{n}} \end{aligned}$$

である. $S = \frac{1}{2}$ より,

$$\frac{1}{2} = \frac{n}{2(n+2)} a^{\frac{2}{n}} \iff a = \left(\frac{n+2}{n} \right)^{\frac{n}{2}}$$

である.

(ii) n が偶数のとき, $y = 0$ となる x の値は, $x = 0, \pm \sqrt[n]{a}$ であり, 曲線 C は y 軸に関して対称であるから, 曲線 C と x 軸で囲まれた部分の面積を T とすると,

$$T = 2S = \frac{n}{n+2} a^{\frac{2}{n}} \quad (\because (i))$$

である. $T = \frac{1}{2}$ より,

$$\frac{1}{2} = \frac{n}{n+2} a^{\frac{2}{n}} \iff a = \left(\frac{n+2}{2n} \right)^{\frac{n}{2}}$$

である.

以上より, 求める a の値は,

$$a = \begin{cases} \left(\frac{n+2}{n}\right)^{\frac{n}{2}} & (n \text{ が奇数のとき}) \\ \left(\frac{n+2}{2n}\right)^{\frac{n}{2}} & (n \text{ が偶数のとき}) \end{cases} \dots\dots(\text{答})$$

(2) (1) より,

$$a_n = \begin{cases} \left(\frac{n+2}{n}\right)^{\frac{n}{2}} & (n \text{ が奇数のとき}) \\ \left(\frac{n+2}{2n}\right)^{\frac{n}{2}} & (n \text{ が偶数のとき}) \end{cases}$$

であるから,

$$b_n = a_{2n} = \left(\frac{2n+2}{2 \cdot 2n}\right)^{\frac{2n}{2}} = \left(\frac{n+1}{2n}\right)^n$$

したがって,

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} b_n &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{n+1}{2n}\right)^n \\ &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{2}\right)^n \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n \\ &= 0 \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

また,

$$c_n = a_{2n-1} = \left(\frac{2n-1+2}{2n-1}\right)^{\frac{2n-1}{2}}$$

であるから,

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} c_n &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{2n-1+2}{2n-1}\right)^{\frac{2n-1}{2}} \\ &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{2n-1}\right)^{\frac{2n-1}{2}} \\ &= e \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

◆ ◆ ◆

解説

(1) は、面積を計算する問題ですが、曲線 C と x 軸との位置関係が分かればよいので、微分をしてきちんとしたグラフを考える必要はありません。解答では、 $0 < x < \sqrt[n]{a}$ において $y < 0$ であると言述べています。 n の偶奇による場合分けに気付けるかどうかのポイントです。(2) は、極限の計算なので、次の自然対数の底に関する極限を利用します。

【自然対数の底に関する極限】

$$(i) \lim_{x \rightarrow \pm\infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = e \qquad (ii) \lim_{x \rightarrow 0} (1+x)^{\frac{1}{x}} = e$$

$$(iii) \lim_{x \rightarrow 0} \frac{\log(1+x)}{x} = 1 \qquad (iv) \lim_{x \rightarrow 0} \frac{e^x - 1}{x} = 1$$

これらの公式は、置き換えを行うことで同値であることが証明できる。